



八幡西中学校の学校経営

【郡上市の教育理念】

**凌霜の心で拓く
明日の郡上市
自立・共生・創拓の教育**

- ・命を大切に
- ・生涯学び続ける
- ・夢と希望をもって強く生きる
- ・助け合い、協力し合って生きる
- ・ふるさとに誇りをもって生きる
- ・心豊かに生活できる

学校の教育目標

健康で心の豊かな生徒
本に親しみ、本を糧として高まる生徒の育成

【学校課題】

- 命と人権の尊重
- 自己肯定感の育成
- 確かな学力の定着
- 夢と郡上愛の育成
- 生きる力の育成

合言葉

Make Everyone Happy!

八幡西中人権宣言『生徒の生徒による生徒のための誓い』

	進んで学ぶ生徒（創拓）	思いやりのある生徒（共生）	たくましい生徒（自立）
学校経営の柱	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら意欲をもって課題解決やさらなる学習に取り組む。 ○自分の考えを進んで発信し、仲間と共に高まろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自他の命を大切にし、その気持ちを行動に移す。 ○周りの人々や地域の役に立つとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「すべきこと」「できること」を自分で考え、判断して行動する。 ○自己理解をし、目標と見通しをもって粘り強く努力し、やり抜く。
	<p>読書を通して、「頭と心を働かせる」「イメージする」「理解する」「納得する」「感動する」「批評する」「課題を考える」「よりよい生き方を求める」などの生きる力を培う。</p>		

学力向上	<p>主体的に学びに向かう生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学び意欲を喚起する学習活動や学習過程を工夫する。 ・3つの「見届ける」を徹底し、指導しきる。 ・授業と連動した予習復習となる家庭学習を指導推進する。 	<p>仲間と共に学ぶ学習集団づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必然のある言語活動を仕組み、充実させる。 ・ペアやグループで意見や考えを交流する場を意図的に設定する。 	<p>自己表現力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基礎的・基本的な知識・技能の定着」と「思考力・判断力・表現力」を繰り返し活用する単元指導計画や学習過程を工夫する。
生活力向上	<p>夢や目標の実現に向けた自治的・自発的な活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもった企画運営や仲間との関わり方を指導する。 <p>よりよい生き方を求めて努力する生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値うちのある行動を見逃さず価値づける。 	<p>人権感覚の向上といじめゼロの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業を要として、全教育活動において人権教育を行う。 <p>地域に貢献しようとする生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に貢献する活動（公民館理事等）を奨励し「地域社会人」としての自覚を促す。 	<p>自己を理解し、夢や目標の達成に向けて粘り強くやり抜く生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個の願いを把握し、その達成に向けて的確な助言をする。 ・壁にぶつかっても、あきらめず努力する姿（生き方）を広め価値付ける。

評価・改善	<p>【前例や固定観念にとらわれず、アイデアを出し、生徒のためによかれと考えたことは実践する。】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 全教育活動において、可能な限り「Make Everyone Happy!」を視点に価値づける。 ② 学力向上を目指し、各種テスト等の結果分析をもとに、指導方法の改善を図る。 ③ 学期末や行事後に保護者の意見を聞き、職員の振り返りと併せて検討し次に生かす。（PDCA） ④ ①～③及びその他のデータをもとに、学校関係者評価を2月に実施し、次年度につなげる。 		
-------	--	--	--

勤務の適正	<ul style="list-style-type: none"> ○年休、特休の取得を推進する。 ○会議（打ち合わせ）は原則勤務時間内に行い、時間短縮のため、以下のことを推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・要点を捉えたわかりやすい資料を作成し、事前配布する。 ・会議のねらいを明確にし、提案は端的に、協議事項は十分に行う。 ・開始時刻を厳守し、終了予定時刻を守るよう全職員で努力する。 ○各自タイムマネジメントに務め、教材研究や生徒指導等の時間を確保する。 		
-------	---	--	--

	【小中・家庭・地域の連携】 「よさを発揮し、求め合う子の育成」
職員の構え	<ul style="list-style-type: none"> ○小中の職員が親睦を深め、情報を共有し、助け合う。 ○小学校6年間、中学校3年間ではなく、「9年間の教育」と捉え、相生小との合同部会（学力向上・生活力向上・特別支援教育）で連携を進める。 ○「相生の子どもを育てる会」により、小中学校の保護者、公民館、地域等と「めざす姿」を共有し連携して取り組む。 ○成果と課題を定期的に検証し、子どもの育成に必要なことを共通理解し、継続実践する。